

移植決定!! 呪縛はDCへと続く

NEW!!

Special
特報
Report!

アーケードで好評稼働中の「ジョジョの奇妙な冒険」が、ドリームキャストへ移植されることが決定!! 今回は、移植が決定したという情報だけで、残念ながらメーカーのほうから画面写真などが公開されることはなかった。が、ドリームキャストのスペックを生かし、単なる移植版で終わらせることはないと期待できるだろう。

●カプコン●発売日未定●価格未定●対戦格闘

移植決定!!

ジョジョの奇妙な冒険

自分の母、自分の娘、そして自分の

週刊少年ジャンプで連載が開始されてから12年、現在も物語は第五部まで進展し、なおも好評連載中の「ジョジョの奇妙な冒険」。この作品が、アーケードの対戦格闘ゲームとして登場したときには、その世界観の再現力のすばらしさに、多くのファンが心を奮わせたことだろう。すでに、他機種では移植が決定していたが、当然、DCへの

移植も決定済みと感じていた人もいたに違いない。そう、コーラを飲むとゲップをするように。あるいは足の小指をダンスの角にぶつけて、たまらなく痛がるように。当然のことだと信じていたはずだ。

移植は決定された。もちろん、単なる移植で済ますはずはない。夢を見つつ、今後の情報に期待してほしい。

新たな能力はドリーム

次は貴様の番だ!!

誇りのためにDIOを討つ!!

キャストで解放される



大人気稼働中のアーケード版

昨年末から稼働が開始されたアーケード版「ジョジョの奇妙な冒険」は、CP-SYSTEMⅢを使用した対戦格闘ゲーム。このゲームの目玉はやはり、舞台となっている原作の第三部と同様に、承太郎やジョセフ、DIOといったキャラクターが「スタンド」と呼ばれる不思議な能力を駆使して闘うところにある。

ゲーム中は、そのスタンドを発現させているかいないかでもダメージ、効果などが変わるようになっていて、少なからず闘い方に影響を与えている。また、システム面においても、既存のシステムに加え、タンDEMアタックなど随所に新しい試みが行われていて、単

なるキャラクターゲームではないことがうかがえる。

それよりも、ファンの心を掴んだ大きな要素は、原作の持つ独特の世界観をみごとに再現しているところだといえるだろう。2D格闘ゲームとしても十分に高い水準を示していて、楽しくプレイできるのはもちろん、「ジョジョ」の世界観にプレイヤー自身の手で触れることができるのが最大の魅力なのだ。しかし、使用可能なキャラの他に、CPU戦にのみ登場するゲブ神のンドゥール、死神13、ヴァニラ・アイスといったキャラもいるが、原作に比べてボリュームの少なさは否めない。

戦闘間と戦闘間の合間には、原作に沿ったストーリーデモが流れる。キャラによっては、原作にはない架空のストーリーも。



オン・オフの切り替えや、キャラによっては可能な遠隔操作など、スタンドを駆使しての闘いがこのゲームの特徴だ。



アツドゥール：「……………」
イギー：「くっちゃんくっちゃん」

ザ・ワールド

DIO デイオ

すべてはここから始まった……

100年前、吸血鬼として恐るべき力を手にした男がいた。彼の名はディオ・ブランドー。彼はその力をもって欲望のままに活動を始め、誇り高き貴族の男によって倒され、男とともに海の底へ消えていった……。

そして現代。ディオは復活を果たす。そして吸血鬼としての力のほかに、「スタンド」と呼ばれる能力を身に付けていた。その力は血を辿り、乗っ取った身体の本래の持ち主、ジョナサン・ジョースターの血を引く者たちへの呪縛となる。そしてディオもまた、ジョースター家との因縁に決着をつけるべく、静かに活動を開始する。

強大なる悪に挑む男たち

JOJO



スター・プラチナ
空条承太郎

第三部の主人公。DIOの影響で、スタンド能力に目覚めるようになった。その性格は、何事にも動じないほどの冷静さのなかにも熱い一面を覗かせる。賭事に関してのブラフ（ハッタリ）も天才的だ。また、幼い頃からやるときはやる人だった。スタンドの能力は、スピードある精密な動きと豪快なパワー型。

KAKYUIN



ハイエロファント・グリーン
花京院典明

肉の芽を脳に埋め込まれ、DIOに対しての絶対的な忠誠心を抱いていたが、承太郎によって助けられる。状況判断に優れており、闘いにおいてはスタンドを使ったトラップをかけるのが得意だ。スタンドは、パワーは弱いけど遠隔操作が可能で、攻撃は広範囲にわたる。人の体内に入って操ることもできる。

POLNAREFF



シルバー・チャリオッツ
J・P・ポルナレフ

妹を殺した両腕が右手の男を探している。花京院と同じように脳に肉の芽が埋め込まれ、エジプトに向かう承太郎ら一行の前に刺客として送り込まれたが、その後行動をともにする。騎士道を重んずる熱い男だが、明るい性格からどうしてもギャグに走る傾向がある。スタンドは、剣を巧みにさばく人型。

DC版「JOJO」に望むもの

完全移植+α。アーケードのプレイ感覚、グラフィック等をそのまま、あるいはグレードアップしての移植は最低条件である。ただ、それだけでは手に取るファンは納得しない。アーケードゲームをどれだけクオリティで移植できるかといったことは過去の話であり、その上で、今はそれにどれだけ要素が加えられるかが必須事項となっているのは間違いないだろう。ただ、開発に実績のあるカプコンということで、過去の作品を見る限りその点に関しては問題ない。

では、DC版ではどのような要素が加わるのか？ 予想ではあるが、登場キャラクターが増えるの

は間違いないだろう。原作では強烈な個性を出しながらも、アーケード版に登場していないキャラは数多い。おそらくは、第三部に登場したスタンド使いは、どんな形であれ全員収められるのではないだろうか。そうあってほしい。読者のなかにも、「第三部に登場したあのキャラを使いたい！」という人は多いはずだ。

あとは、通信対戦というのも考えられる。電話回線を通し、別のところにいる人との対戦もきっと楽しいだろう。ただ、とてもスピーディーで正確な判定を求められる2D格闘で、それが実現するかどうかは難しいところだ。

もし通信対戦が実現したら、勝ちゼリフなども自分で決められたら楽しいだろう。自分なりの勝ちゼリフで相手を挑発!!



CPU戦のみに登場したドゥールやヴァニラ・アイスなども使いたいところ。とにかく、登場キャラはぜひ増やしてほしい。



の勇姿はとっても美しい!!

AVODOL



マジシャンズ・レッド
モハメド・アヴドゥル

エジプトの占い師。DIOと会ったことがあるが、その際に恐怖を感じ取り、逃げ出すことに成功している。また、ジョセフのよき友人であり、その豊富な知識は旅を続ける一行になくてはならない存在だ。性格は真面目で仲間思いだが、それが命取りとなっている。スタンドは炎と熱を操る。

IGGY



ザ・フール
イギー

旅の後半から、助っ人として一行と合流。したたかだがわがままでプライドも高く、何事が起きても自分にふりかからなければ、我関せずといった感じで非協力的。ただ、大好きな少年の危機は放って見過ごすわけにはいかない。コーヒー味のチューインガムが好物だ。スタンドは砂を操る。

JOSEPH



ハミット・パープル
ジョセフ・ジョースター

承太郎の祖父で、第二部の主人公でもあった。若き頃に波紋を修行。現在は、ニューヨークの不動産王としてその地位を築き上げている。敵をあざむくことに関してはこのジョセフの右に出るものはおらず、何に関しても戦い方をよく心得ている。スタンドは、右腕から出るイバラのようなトゲ。念写が得意だ。